

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市槻の木及び槻の木第2やまぶき
(2)施設概要	①所在地 槻の木: 岩槻区黒谷1135-2 第2やまぶき: 岩槻区黒谷1282-1 ②施設の設置目的 障害者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、障害者の福祉の増進を図る。 ③施設の概要 敷地面積 槻の木: 1,489.40㎡ 第2やまぶき: 763.00㎡ 延床面積 槻の木: 879.60㎡ 第2やまぶき: 239.31㎡ 構造 槻の木: 鉄筋コンクリート造 2階建 第2やまぶき: 軽量鉄骨造平屋建 木造平屋建 事業内容 槻の木: 生活介護事業(定員50人) 平成19年4月指定 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 平成27年4月指定 第2やまぶき: 就労移行支援事業(定員6人) 平成19年4月指定 就労継続支援事業B型(定員10人) 平成19年4月指定
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和3年度81,870千円、令和4年度82,470千円、令和5年度82,470千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 (槻の木) 〈生活介護事業〉 ・延利用者人数7,177人(前年度7,000人) ・平均利用者数29.1人(前年度29.3人) ・稼働率58.1%(前年度58.6%) 〈相談事業〉 ・契約者数111人(前年度98人) (第2やまぶき) 〈就労移行支援事業〉 ・延利用者数 0人(前年度12人) ・稼働率0%(前年度0.8%) 〈就労継続支援事業B型〉 ・延利用者数1,805人(前年度2,109人) ・稼働率74.0%(前年度86.8%) ◇業務実施状況 (槻の木) ・開所日数: 247日(前年度239日) ・外出体験活動 ・土曜開所 ・受注作業、創作製品作業 ・健康診断 ・歯科健診 ・機能回復訓練 (第2やまぶき) ・開所日数: 就労移行 244日 就労継続B型 244日 ・就労支援・生産活動支援・余暇活動支援・地域活動支援・健康診断 ・歯科健診

(5)施設の管理運営の内容	②維持管理業務の状況 (槻の木) ・清掃等業務(建物内の定期・日常清掃、害虫駆除) ・機械警備業務 ・廃棄物収集運搬処理業務 ・消防用設備保守点検業務 ・自家用電気工作物保安業務 ・昇降機保守業務 ・空調設備維持管理業務 ・換気設備維持管理業務 ・浄化槽維持管理業務 ・貯水槽維持管理業務 ・電気温水器維持管理業務 ・給食管理業務 (第2やまぶき) ・清掃等業務(建物内の日常清掃、害虫駆除) ・浄化槽設備維持管理業務 ・機械警備業務 ・廃棄物収集運搬処理業務 ・消防用設備保守点検業務 ③その他の業務																																				
(6)収支状況	①収入 <table><tr><td>・指定管理料</td><td>102,077千円</td><td>(前年度82,470千円)</td></tr><tr><td>・障害福祉サービス等事業収入</td><td>91,707千円</td><td>(前年度88,951千円)</td></tr><tr><td>・就労支援事業</td><td>1,076千円</td><td>(前年度1,183千円)</td></tr><tr><td>・その他</td><td>2,460千円</td><td>(前年度39,548千円)</td></tr><tr><td>・人件費積立資産取崩収入</td><td>18,100千円</td><td></td></tr></table> ②支出 <table><tr><td>・人件費</td><td>162,939千円</td><td>(前年度146,611千円)</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>3,898千円</td><td>(前年度3,809千円)</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>18,360千円</td><td>(前年度19,126千円)</td></tr><tr><td>・事業費</td><td>7,215千円</td><td>(前年度7,080千円)</td></tr><tr><td>・繰入金支出</td><td>16,333千円</td><td>(前年度27,380千円)</td></tr><tr><td>・就労支援事業</td><td>1,075千円</td><td>(前年度1,183千円)</td></tr><tr><td>・その他</td><td>1,840千円</td><td>(前年度6,963千円)</td></tr></table>	・指定管理料	102,077千円	(前年度82,470千円)	・障害福祉サービス等事業収入	91,707千円	(前年度88,951千円)	・就労支援事業	1,076千円	(前年度1,183千円)	・その他	2,460千円	(前年度39,548千円)	・人件費積立資産取崩収入	18,100千円		・人件費	162,939千円	(前年度146,611千円)	・事務費	3,898千円	(前年度3,809千円)	・施設管理費	18,360千円	(前年度19,126千円)	・事業費	7,215千円	(前年度7,080千円)	・繰入金支出	16,333千円	(前年度27,380千円)	・就労支援事業	1,075千円	(前年度1,183千円)	・その他	1,840千円	(前年度6,963千円)
・指定管理料	102,077千円	(前年度82,470千円)																																			
・障害福祉サービス等事業収入	91,707千円	(前年度88,951千円)																																			
・就労支援事業	1,076千円	(前年度1,183千円)																																			
・その他	2,460千円	(前年度39,548千円)																																			
・人件費積立資産取崩収入	18,100千円																																				
・人件費	162,939千円	(前年度146,611千円)																																			
・事務費	3,898千円	(前年度3,809千円)																																			
・施設管理費	18,360千円	(前年度19,126千円)																																			
・事業費	7,215千円	(前年度7,080千円)																																			
・繰入金支出	16,333千円	(前年度27,380千円)																																			
・就労支援事業	1,075千円	(前年度1,183千円)																																			
・その他	1,840千円	(前年度6,963千円)																																			
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	法人全体では、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要綱による投書箱の設置、福祉サービス利用者アンケートの実施することで、利用者からの意見・要望を受け付ける機会を設けた。 (槻の木) 事業説明会を4月27日に実施(10名参加)。活動見学会・給食試食会を2月5日～9日までの5日間実施(7名参加)。 利用者アンケート対象のアンケートとして、福祉サービス利用者アンケートを10月に実施。給食アンケートを2月に実施。特に意見また要望等は無かったが、アンケート結果の内容を職員で共有し、支援に反映した。 (第2やまぶき) 事業説明会は、感染症拡大防止のため、書面にて実施した。 福祉サービス利用者アンケート(10月)、利用者対象給食アンケート(2月)を行った。利用者の自治会活動を支援し、利用者の意向を活動内容に反映した。																																				
(8)その他																																					

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
10月開催予定の槻の木まつりを含む、年4回土曜開所を実施する。	(槻の木) 10月21日(土)に槻の木まつりを実施した。地域住民の方も来所され、利用者・ご家族・来賓等含め、延べ111名が参加された。 また土曜開所では、槻の木まつりを含めて年4回実施した(7月1日、10月21日、12月16日、2月17日)
10月に実施予定の「和土小学校ふれあいフェスティバル」に参加する。	(槻の木) 和土小学校が開校150周年を迎えたことで、記念行事の開催が変更になった関係で、通年開催のふれあいフェスティバルは中止となった。
10月開催予定の岩槻区民まつりに参加する。	(槻の木) 10月22日(日)に岩槻文化公園で開催された区民まつりに参加した。施設紹介パネルを展示して施設パンフレットを配付したり、農作物や自主製品を販売を通して施設アピールを行った。
地域の中で「働く」ことを大切にし、利用者一人ひとりが、施設の活動を通じて「働き、工賃を得る喜び」を実感できるように支援し、就労支援等を通して社会参加の拡大を目指す。	(第2やまぶき) 個別支援計画に基づき、一人ひとりが様々な作業に参加できるよう支援した。また公園清掃や農作物の販売等をとおして、地域の中で働く機会を提供した。工賃向上を目指し、下請作業の増産と収益の向上に努めた。平均工賃月額12,007円であった(新算定式による)。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

(共通) 施設運営においては、相談支援事業と連携を図りながら、利用者へ更なるサービス向上に繋がるような総合的な支援を提供した。 利用者への人権擁護、虐待防止等の観点から、全職員が虐待防止チェックリストを行うことで虐待防止への意識向上に努めた。 地域交流の一環として毎年開催してきた槻の木まつりについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、暫くは中止または規模を縮小して開催してきたが、今年度は外部向けのチラシの配付は行わなかったが、地域住民の方も久しぶりに来場され、家族、来賓等も含め111名の方が来場された。 (槻の木) 利用者支援においては、個別支援計画に基づいた支援を行うとともに、適正な支援ができているか適宜評価を行うことで、質の高いサービス向上に努めた。 外出活動等の行事については、選択肢を増やし利用者ニーズに合わせた企画で実施した。作業活動については、請負業者からの受注作業を継続するとともに、空き缶リサイクル作業については、引き取り単価が高い業者に変更することで、前年度より工賃支給額を増やすことができた。 (第2やまぶき) 個別支援計画に基づき、個々の実情に応じて生産活動等の支援を行った。作業においては、公園清掃や農作物の販売等をとおして積極的に地域との関わりをもった。生活面においては、ご家族の急病時等に関係機関と連携を図り、個々の実情に応じて支援を行った。 就労移行支援事業では、区内の就労アセスメントの取扱いに変更があり、利用者として受け入れることはなかった。就労継続支援事業B型では、長期に欠席していた利用者1名を槻の木(生活介護)の利用に結びつけた。 法人による利用者アンケートの実施、意見箱の設置、面談の機会、利用者の自治会活動等をとおして利用者及びご家族のニーズを把握し、サービスの向上に努めた。 また、施設の維持・管理を行い利用者が安心、安全に活動できるよう努めた。経費については、節電、節水、古紙のリサイクル(利用者の工賃に還元)等を行いコスト削減に努めた。
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 (B) ※A~D

施設運営においては、相談支援事業と連携を図りながら、利用者へ更なるサービス向上に繋がるような総合的な支援を提供した。槻の木についてが、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供した。また、第2やまぶきについては、資源回収や公園清掃、農作物の販売等を通して、積極的に地域との関わりを持った。

特筆事項としては、利用者への人権擁護、虐待防止等の観点から、全職員が市の虐待防止チェックリストを新たに使って、その意識を高めた。また、例年の行事である「槻の木まつり」を10月に開催、利用者とその家族、職員や近隣住民が参加して盛大に実施した。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。